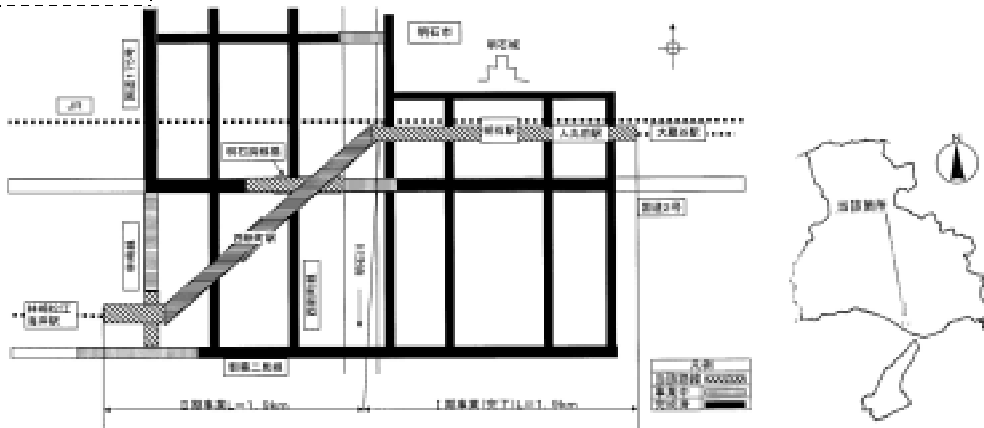


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課  
担当課長名：斉藤 親

<b>事業名</b> さんようでんでつほんせん(あかしし) 山陽電鉄本線(明石市)	<b>事業区分</b> 街路(連続立体)	<b>事業主体</b> 兵庫県
<b>起終点</b> 自：兵庫県明石市大蔵町 至：兵庫県明石市南貴崎町	<b>延長</b> 3.8 km	
<b>事業概要</b> 本事業は明石市の中心市街地を東西に縦走する山陽電鉄本線を連続的に高架化することにより、18箇所の踏切を除却し、市街地の交通円滑化を図るとともに、鉄道により南北に分断されていた地域の一体的なまちづくりを進めるものである。 なお、本事業は事業延長が長いことから、早期に事業高架を発揮するため、工区を分割し施行している。		
S51年度事業化	S52年度都市計画決定(H13年度変更)	S53年度用地着手(2期事業H14年度用地着手)
<b>全体事業費</b> 473億円   <b>事業進捗率</b> 56%   <b>供用済延長</b> 1.8km		
<b>踏切交通遮断量</b> 66,643台時/日		
<b>費用便益分析結果</b> (期事業)	<b>B/C</b> (期事業) 3.4	<b>総費用</b> (期事業) 170億円 (事業費: 169.6億円)
<b>総便益</b> (期事業) 579億円 (走行時間短縮便益: 416.8億円) (走行費用減少便益: 124.2億円) (踏切事故減少便益: 2.2億円) (高架下利用便益: 35.9億円)		<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保(踏切遮断交通量10,000台時/日以上)の踏切の除却 ・個性ある地域の形成(鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消)他15項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 西新町駅周辺のまちづくりには鉄道の高架化及び国道2号の平面4車線化が必要であり、地元自治会、商工会等で構成される「山陽電鉄高架化事業促進協議会」により、期事業の早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 西新町駅周辺は慢性的な渋滞にあり、鉄道による市街地の分断状況も変化していない。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 期事業(大蔵谷駅付近～明石川左岸) L=1.8kmについては、平成6年度に事業を完了し、9箇所の踏切を除却している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 期事業完了に引き続き、期事業(明石川左岸～林崎松江海岸駅付近)に着手する予定であったが、仮線に支障となる保守基地の移転計画、国道2号明石跨線橋の撤去計画の協議調整に時間を要した。これらの協議が整ったことから、平成13年度には都市計画変更し、事業認可を取得している。平成19年度仮線切替、平成23年度高架切替、平成24年度事業完了を目標に用地取得を推進している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 国道2号明石跨線橋の撤去計画について、工事期間の短縮及び代替路等交通容量を確保し、市内の交通に大きな影響を与えないよう交通対策に重点をおいた撤去計画に変更した。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 国道2号の平面4車線化及び周辺街路網の整備による交通渋滞の解消、及び西新町駅南北の市街地の一体化を図るため、期事業に引き続き、期事業の事業推進が必要である。		
<b>事業概要図</b>  <p style="text-align: center;"><b>山陽電鉄本線(明石市)連続立体交差事業 L=3.8km</b></p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。